

沖縄における米兵性暴力事件の過少報道に関する公開質問状

2012年10月23日

NHK会長 松本正之様

10月16日に那覇市で2米兵が集団強姦致傷容疑で逮捕された事件について、NHKは同日のニュースで、次のように報じていました。

「沖縄県内では、沖縄が日本に復帰した昭和47年以降、これまでにアメリカ軍の兵士が女性を乱暴したとして逮捕された事件が7件起きています。」ⁱ

しかし1972年以降、2011年までに沖縄県警が検挙した米軍による性暴力事件は少なくとも127件あり、報道された「7件」とは大きな食い違いがあります。この数字について複数の疑問や抗議が寄せられたあと、10月19日に、NHKニュースサイト上の同記事からは、問題の個所が、何の説明もないまま削除されましたⁱⁱ。この件について、以下の通り質問いたします。

一. 問い合わせに対する10月19日のNHK沖縄放送局NHKふれあいセンター（放送）の回答ⁱⁱⁱによれば、「7件」という情報は、「沖縄県がとりまとめた主要な強姦致傷事件（未遂は除く）の資料から引用したもの」とのことです。この「資料」とは何か、引用した個所をお示しく下さい。

二. 上記の回答によれば、「7件」とは、「いずれも大きく報道された」「主要な強姦致傷事件（未遂は除く）」とのこと。これは、「これまでにアメリカ軍の兵士が女性を乱暴した（性暴力を行った）として逮捕された事件」のごく一部にすぎないことを認めますか。また、全体のごく一部にすぎないものを、あたかも米兵による性暴力事件すべての件数であるかのように誤解させる報道内容であったことを認め、訂正するつもりがありますか。

三. NHKの上記報道にもとづき、米ニューヨークタイムズ紙も、今回の性暴力事件を「1972年以後7件目」と報じました^{iv}。沖縄における米兵の性暴力被害の規模を過小評価させる誤報によって、海外紙にも誤解をあたえたことについて、どのように責任をとる予定でしょうか。

以上、ご回答ください。回答は下記あてに、2週間以内に文書にていただくようお願いいたします。いただいた回答文書は公開させていただくことをあらかじめお断りしておきます。

アジア女性資料センター
アクティブ・ミュージアム 女たちの戦争と平和資料館 (wam)

連絡先:

アジア女性資料センター

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 14-10-211

TEL: 03-3780-5245/ FAX: 03-3463-9752/ E-mail: ajwrc@ajwrc.org

注

ⁱ 10月16日配信「女性乱暴の疑いで米兵2人逮捕 沖縄」
(<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20121016/k10015789511000.html>)

配信当時のニュース全文は下記の通りであった。

女性乱暴の疑いで米兵2人逮捕 沖縄

16日未明、アメリカ海軍の兵士2人が、沖縄本島の中中部で日本人の女性1人を乱暴してけがをさせたとして逮捕されました。

1人は容疑を認め、別の1人は否認しているということです。

逮捕されたのは、アメリカ海軍の上等水兵、クリストファー・ブローニング容疑者(23)と、3等兵曹のスカイラー・ドージャーウォーカー容疑者(23)です。

警察の調べによりますと、兵士2人は16日午前3時半すぎ、沖縄本島中部の路上で、日本人の女性1人を乱暴してけがをさせた疑いが持たれています。

調べに対し、2人はテキサス州のフォートワース海軍航空基地の所属だと話し、このうちブローニング上等水兵は「事実は違っている」と述べて容疑を否認し、ドージャーウォーカー3等兵曹は認めているということです。

女性は自宅に歩いて帰る途中、兵士2人から襲われ、首にけがを負っているということです。

女性は、兵士2人と面識はないと話しているということです。

女性の関係者からの通報で警察が捜査したところ、基地の外の宿泊施設にいたブローニング上等水兵を見つけ、その後、ドージャーウォーカー3等兵曹も見つけて逮捕したということです。

警察は、当時の詳しい状況などを捜査しています。

“極めて重大な事態”

沖縄県で、基地政策を統括する又吉進知事公室長は、16日夜、記者会見を開き「知事に事件を報告したところ、しばし絶句し、極めて重大な事態だとして怒っていた。県として情報収集に努めているが、今回の容疑で逮捕されたことについて、私が申し上げるまでもなく、県民全体が大変な衝撃を受けており、許しがたい事態だ」と述べました。

そのうえで、又吉知事公室長は、上京している仲井真知事が、17日、総理大臣官邸などに赴き、政府に対し厳正な対応を取るよう求めるとともに、県内ではアメリカ軍キャンプ瑞慶覧にある在日アメリカ軍沖縄事務所やアメリカ総領事館などに対し、厳重に抗議することを明らかにしました。

“深刻に受け止めている”

神奈川県横須賀市にある在日アメリカ海軍の司令部によりますと、逮捕された2人の兵士はアメリカ・テキサス州のフォートワース海軍航空基地の補給などを担当する部隊に所属していて、今月14日から物資の輸送のため沖縄の嘉手納基地に派遣されていたということです。

NHKの取材に対して、「兵士が起こす事件はどのような状況であれ深刻に受け止めている。沖縄県警察本部が現在捜査を行っており、アメリカ海軍として捜査に全面的に協力する」とコメントしています。

米兵による沖縄での事件

沖縄県内では、沖縄が日本に復帰した昭和47年以降、これまでにアメリカ軍の兵士が女性を乱暴したとして逮捕された事件が7件起きています。

平成7年には、アメリカ軍の兵士3人が女子小学生を車で連れ去り、集団で乱暴する事件が起き、大規模な抗議集会が開かれました。

また、平成13年には、アメリカ空軍嘉手納基地に所属する兵士が、北谷町で当時20代の女性を乱暴し逮捕されたほか、平成15年には、キャンプ・ハンセンに所属するアメリカ海兵隊の兵士が、金武町で当時19歳の女性の顔を殴って乱暴する事件が起きています。

ⁱⁱ 10月19日23時、上記記事より、小見出し「米兵による沖縄での事件」以降の部分が削除されていることを確認した。

ⁱⁱⁱ [問い合わせ番号 1516070_1516079]への回答(10月19日)

「いつもNHKの番組やニュースをご視聴いただき、ありがとうございます。
お問い合わせの件についてご連絡いたします。

今回の事件についてはその重大性に鑑み、様々な関係情報を伝えることを重視しています。

アメリカ軍兵士が起こした性犯罪の記録については、沖縄県や県警察本部、アメリカ軍などがとりまとめた複数の資料があります。

ご指摘いただいた「7件」という情報は、沖縄県がとりまとめた主要な強姦致傷事件（未遂は除く）の資料から引用したものです。

これらの事件はいずれも大きく報道されたものばかりで、過去に沖縄で同種事件が繰り返されてきた実態を伝えるために報じました。

一方で、同種事件の全体状況を伝えるために、沖縄県警察本部が昭和47年から平成23年までに検挙した「124件」という情報も、今月18日に女性団体が沖縄のアメリカ総領事館に抗議したニュースにあわせて報じました。

その際には、性犯罪の特殊性から被害届が出されていないケースもあるという女性団体の代表のインタビューも放送しています。

NHKは、引き続き、今回の事件や沖縄の基地問題について様々な角度から検証していきたいと考えています。お便りありがとうございました。

NHK沖縄放送局
NHKふれあいセンター（放送）」

^{iv} 10月16日付“Arrests of 2 U.S. Sailors in Rape Case Threaten to Fan Okinawa’s Anger” (http://www.nytimes.com/2012/10/17/world/asia/2-us-navy-sailors-arrested-in-okinawa-rape.html?_r=0) において下記の通り報じられた。

“NHK reported that the new rape case was the seventh to result in the arrest of American servicemen since the United States returned Okinawa to Japan in 1972.”